

■台湾：原発の稼働延長はないと発言

経済部（MOEA）の施部長は2011年5月20日、エネルギー政策会議で「福島第1原発の事故を受け、第1～第3原発について2010年に決定した稼働期間の延長を取り消す」と発言した。第1（金山：127.2万kW：63.6万kW×2基）と第2（国聖：197万kW：98.5万kW×2基）、第3（馬鞍：190.2万kW：95.1万kW×2基）原発は、当初計画ではそれぞれ2019年、2021年、2025年に運転を停止する予定であったが、台湾電力公司（TAIPOWER）の要請を受け、2010年に延命化することが決定していた。また、現在、建設中の第4原発（龍門：270万kW：135万kW×2基）については、安全を確認した上で商業運転を認めるとしている。